

でらボラ NAGOYA 通信

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行



2016. 2

未曾有の大震災から来月で5年。「支援」とは何か。
「ともに生きる」とは何か。今一度 原点に立ち戻り考えていきたい。

「東日本大震災が私に問いかけるもの」

2016年1月14日、震災支援を精力的に続けておられる東京教区の酒井義一先生をお招きし、名古屋教区・別院の宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要の事業として、震災を振り返る企画が教務所議事堂にて開催されました。でらボラ会員も多数参加。今までの活動のあり方を思い返し、そこから問われてきたものについて、そしてこれからの支援活動はどうあるべきかについて思いを巡らせ、会員一同、決意を新たにしました。

私も参加しました！

酒井先生の講義では、真宗における支援やボランティアについてたくさんの示唆を受けました。現地の方との出会いを通じて、「“人間の悲しみに寄り添う人になれ”と、私たちの方が願われている」「支援するものが、(実は)支援されている」という先生の言葉に感銘を受けると同時に、身を正される思いでした。

この企画は2月の現地研修の事前学習会を兼ねていましたが、震災から5年となる今年、初めて現地に赴くという参加者に多く出あいました。「復興は終わった」と、無関心な日常に戻ろうとする抗いがたい世の流れを感じていた時に、

「遅くなってしまったけれど、会いに行きます！」

「ずっと気になっていました！」

と言って下さる方が まだ たくさんおられる
ということを知り、とても感動しました。

(大河内 真慈)



皆様からの支援が返って参りました！

一日一日を、被災された方々とこころ響きあう生活にしたい。そんな願いからでらボラでは、「いのちのよびこえカレンダー」を4年前から作っています。皆様から1冊購入していただくと、被災された方に1冊送ることができます。今年もたくさんのカレンダーを被災地に届けることができました。たくさんのご協力、本当にありがとうございました！

被災地の方から嬉しいお便りが届きました。

先日頂いたカレンダーを約40名の子ども達と4カ所の災害公営住宅の住民、高台移転先住民約300世帯へお渡しさせていただきました。

「まだ気にかけてくれて嬉しいね」との声もあり、めっちゃめっちゃ喜ばれました。



(NPO レスキューストックヤード七ヶ浜事務局様より)

でらボラNAGOYA会員 募集中！

- ★いっしょに東北へ行って、交流しませんか？
- ★東北へメッセージと物資を送りませんか？
- ★そのほか、ともに喜びを感じる企画を考えてみませんか？

【入会資格】不要です。東北へ行けない人も名古屋でできることがあります。

【会費】不要です。

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください。

【問い合わせ】E-Mail derabora758@gmail.com

今後の活動予定

【3.11 勿忘のつどい】3月11日午後2時46分～ 名古屋別院大鐘、本堂

【東北ボランティア 北條チーム】2月24日～27日 福島県を中心とした各地

【東北ボランティア 隠チーム】3月3日～ 5日 宮城県を中心とした各地

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋